

牧師：メラニア・トランプは入居する前にホワイトハウスを 悪魔祓いした

ファースト・レディが、大統領執務室から悪を一掃しようとした

【訳者注】“除霊”という、我々の間でもよく聞く言葉がある。これは民間で行われる、やや胡散臭いやり方のように思える。メラニア・トランプが提唱して、トランプ大統領が賛同した方法も、同じだと言ってもよい。しかし、彼らのこの行動は、その意味が全く違うように思える。あのアイルランドの神父の、全世界にエクソシストを求める、切実な運動を知ったあと、我々は考え方を変えなければならなくなった。——ここには書ききれないので、別のエッセーとして稿を改めます。よろしく願います。

Daniel Newton, www.neonnettle.com

February 9, 2018



Paul Begley 牧師によれば、ファースト・レディ、メラニア・トランプは、ホワイトハウスを霊的に清めることを要請した。

ファースト・レディ Melania Trump は、入居する前に、ホワイトハウスを“悪霊の力”から霊的に洗淨すること要望した、とある牧師が主張している。

<http://www.neonnettle.com/tags/white-house>

Paul Begley 牧師は、The Weekend Vigilante の、シェイラ・リジンスキーとのインタビュー

で、ホワイトハウスを、ネガティブな諸力から、「完全に悪魔払いする」ことを希望したのは、メラニアだったことを明らかにした。

「大統領が、40 人もの牧師をホワイトハウスに迎え入れて、聖油式とともに、手を置いて祈ってもらったとき、彼はこれを 7 回繰り返したが、これほどのやり方は聞いたことがない」と、ポール・ベグリー牧師は言った。

「少なくとも彼は、十分に謙虚であり、自分は神を必要とすることを認めていて、祈りのためにトランプは、彼らをよく招いている。私がここで言わなければならないのは、これが始まったのは、たぶん、ファースト・レディからだということだ。」

トランプが、アメリカ合衆国第 45 代大統領として宣誓して以来、メラニアは彼に向って、ホワイトハウスが「完全に悪魔払い」されなければ、自分はそのに移り住む気はない、と言っていた。トランプ大統領はそれに合意したと言われる。

Infowars によれば、ベグリー牧師はこう言った：——「彼らがカーペットを引きはがしたり、掛け布を取り換えたりしたりしていた 5 時間の間に、大勢の人が入ってきて、あらゆる偶像を荷造りしたのだ。残った唯一のものは、シェイラ（聞き手）、壁にかかった十字架だけだったよ。彼らはホワイトハウスを清めた。多くの人びとが入ってきて、あらゆる場所を聖油と祈りで清めたのだ。」 <https://www.infowars.com/melania-had-white-house-spiritually-cleansed-before-moving-in-pastor-claims/>

ベグリーは付け加えて、前のいくつかの政権は、この屋敷に悪魔的なシンボルを残したと言い、クリントンが、ハイチとヴァードゥー教に魅せられていたことを、詳しく語った：——

「明らかに、オバマがそこにいた 8 年の間に、そしておそらく、それ以前の何人かの大統領の間に、あらゆる種類の神の偶像や画像、あらゆる種類の悪魔的な工芸品が持ち込まれ、そのいくつかはクリントン時代からあったのは、彼らが本当にハイチ人と結びついていたからだった。

「これは確かなことだが、『蛇と虹』という物語を読んでもみれば、いかにハイチの魔術師が、ビルとヒラリーの人生に影響を与えていたかがわかるだろう」と、ベグリーは加えた。「彼らは常にそこへ戻っている。彼らは新婚旅行を魔術師とともに過ごした。誰がそんなことをするだろう？」

ワシントン・ポストは、1975 年に、クリントン夫妻がハイチで蜜月を送ったことを報じて

いる。

「彼らは、かつて作家のヘミングウエーが泊った、古いホテルで過ごし、完全な白服のヴェードゥーの高僧を訪れた」と、ポスト紙は報じ、クリントン夫妻は「ハイチに取りつかれた一家」だと言っている。

この元大統領の本 *My Life* にもまた、クリントン夫妻は、「霊がやってきて、人々が身体の上で灯を燃やし、火傷することなく熱い石炭の上を歩き、他の者たちは、生きた鶏の頭を掴んで食いちぎるのを目撃した」という箇所が含まれている。

ヒラリーの本 *What Happened* では、彼女は欲求不満から、新聞記者や議会のメンバーで、ヴェードゥーの人形を作り、「彼らに針をいっぱい突き刺したい」気持ちになった、と言っている。

「メラニーはこう言ったのだ——あそこにあるすべてを放り出し、何人かの牧師や神父に入ってもらって、ホワイトハウスを清めなければ、私は、そこで一晩だって過ごすことはできません。」

ベグリー牧師は、トランプの行動は大げさに見えるかもしれないが、それは霊的安寧という面からみれば、必要なものだと言っている。

「これは大がかりな霊的処置であり、少しやり過ぎではないかと思われるかもしれない」と、彼は言った。「しかし、権威ある地位に就くということは、霊的な安寧を必要とするということだ。あなたは霊的な基礎固めから出発し、そこから外側のことが始まる。私は、このすべてが、こういうやり方、つまり強力な悪魔祓いというやり方で始まって、よかったと思う。」

CNS ニュースによれば、ベグリー牧師は、自分の話の出どころは、ホワイトハウス内部の、匿名希望の、ある人物だと言っている。

トランプ大統領は、木曜日の、第66回年次「国家的祈りの朝食会」で、その言葉を裏切らなかった。彼はそこでこう言った——「我々の権利は人から与えられたものではない。我々の権利は、我々の創造者から来たものだ。」

——以上